

# みんなの VOICE

組合員のくらしのたね

みんなのVOICE第27号  
コープ自然派 おおさか 理事会 VOICE  
2023年 10月 発行



前回(2023年6月発行・第26号)ではセンター特集で堺センターと和歌山センターを紹介しました。楽しんでいただけましたでしょうか？  
さて！お待たせしました！センター特集第2弾！です。裏面はセンター倉庫の様子と理事コラムも掲載しています。ぜひご覧ください。

## センター特集 2

コープ自然派おおさかには4つの配送センター（茨木・堺・大東・和歌山）があります。今回は**茨木センター**と**大東センター**をご紹介します。  
各配送センターから組合員宅まで、子会社である(株)コープ自然派リンクスのスタッフがお届けします。

大阪北摂地域をカバーする茨木センターは、組合員数約17000人に支えて頂く、自然派全体でも最大規模の事業所です。就業している人数も総勢約90名。大きく分けて、配送部門のコープ自然派リンクス茨木営業所、組合員さんの輪を広げる拡大、共済部門の組織部、そして最大の特徴として、組合員対応を主に担当する本部の3部門が配置されています。写真ではわかりにくいかもしれませんが、大所帯となりました。朝5時から晩遅くまで、常に誰かが稼働しています。



茨木センター



事業拡大につれて事務所も手狭になってきたため、ただいま、センター内の改装を行っております。組合員活動室もリニューアル予定です。改装終了したあかつきには、ぜひご利用いただければと思います。

また、太陽光パネルも設置し、自社利用をして経費削減につなげているのも特徴です。ですが、それよりも！実は、センターの裏口付近に小さな畑を作り、ひそかに「園芸部」として活動している職員が数名います。実りを期待していますが、それよりも、自然に触れる癒しパワーによる業務力アップの方が大きいかも…。

ここで自慢を一つ。それは、職員、特に定時職員の勤続年数が高いこと。自らも組合員として、コープ自然派の理念や存在意義を十分理解し、一期一会を重ねながらそれを伝える存在。そんなスタッフが長く責務を果たし続けてくれていることが、自慢であり、誇りです。今年度はキッチンカーでイベントやお住まいの周辺をお訪ねする機会を増やします。ぜひぜひお出でいただき、スタッフとも交流を持っていただくと嬉しいです！

さて、ここまでお伝えして、なぜ「おおさか」の本部が大阪北部の茨木？と思われる方も多いのではないのでしょうか？答えは、コープ自然派発祥の地だからです。子どもたちを、自らが納得したほんものの食べ物で育てたいと心から願うお母さん達が最初に集まったのが、ここ茨木。

組織が大きくなり、人も増えると一丸となるのが容易でなくなるのを実感していますが、その、当然なのに偉大な想いを継ぎ、おおさかをリードする存在として、多様な人々のアイデアとパワーを集結し、組合員の皆様のお役に立てるよう精励する所存です。温かい叱咤激励を、今後どうぞよろしくお願いいたします。



茨木センター長

ふじい まゆ  
藤井繭優

住まいは大阪市長居公園の近くなので、長居植物園の年パスを購入して散策を楽しんでいます。18,16,14歳のかしまし三姉妹の母です。



大東センター長

あらほり ひびき  
荒堀響

最近の休日は子供と緑地公園でお昼ごはんを食べるプチ遠足です。

大阪府内3センターの内、真ん中の地域をカバーする大東センターは組合員数約14000名に支えていただき、設立7年目のセンターです。在籍している社員は約60名（生協・配送部門・倉庫スタッフ）で、社員同士の仲が良い明るい雰囲気が特徴です。



大東センター

カバーする配送エリアは東は枚方市楠葉、西は大阪市西区、南は大阪市平野区や東大阪市南部までを各曜日で配達しております。配送担当の平均年齢は34歳で20代～40代の約30名の社員で担当エリアの配送を対応させていただいております。

部門ごとの勤続年数は様々で、設立から働いている社員もたくさん在籍しており、ベテラン・新人それぞれの業務をカバーし合える関係性です。

日頃から支えていただいている組合員の皆様のおかげで、設立から7年目を迎えることができました。至らないことも多々ありますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

# リサイクル回収のその後は??

取材班がちょっと伝えたくなった! ~夕方のセンターのようす~

配送の車が帰ってくると続々と通い箱やリサイクルとして返却した物が降ろされます



こんなふうに仕分けされていきます

卵の紙パック  
元気たまご40個の箱



荷物でいいわ!



カタログ

※カタログ以外の物が入っていないかチェックします。

回収するピンは  
カタログにRマーク  
がついています。



回収してない  
ピンも入っちゃってる



ピンの回収は  
自然派 Styleびん牛乳  
菜食健美  
2種類だよ



ポリ袋  
回収してるんや



商品を梱包しているポリ袋と  
食材セットの外袋

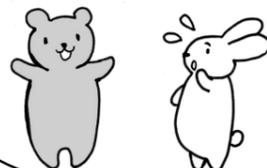


ポリ袋は破れてもいいから  
シールをはがしてね

※圧縮・溶かして粒状にしてから  
リサイクル資源になります

気を付けて  
とるね

スタッフのシールを  
はがす手間がかかって  
リサイクル作業が  
停滞してしまいます



古紙は回収業者に引き渡され  
リサイクル資源となります。  
この収入を原資にプラスチック  
削減に取り組んでいます。



よつ葉乳業の牛乳パック  
洗って、開いて、乾かしてください。

通い箱(緑のコンテナ  
や発泡スチロールの  
箱)は組合員皆さんの  
資源です。大切に使う  
ていきましょう。



ピンは  
リユースの



## 出会ってから広がる世界

理事コラム by. yoshi

「キラキラが見えなくなっても自分がキラキラしていよう!」これは友人のFacebookのキャッチフレーズ! 彼女とは何気なく参加した講座で出会ってからかれこれ二〇年の交流になる。ある時、彼女は網膜色素変性症という目の病気です。この時はまだ私の顔もぼんやりとは見えていたのが今は曇ったドアの覗き穴から見る感じで視野がずいぶん狭くなってきたらしい。白杖を使うようになった彼女と出かけたときに、白杖をついた人に声掛けて大事だと思った。以前は道や駅などで白杖をつけてささうと歩いてる人を見かけると、サポートは必要ないんだと思いきや白杖に当たらないように距離をとって歩くようにしていた。でも声をかけることで駅のホームでの転落事故が防げたり、横断歩道や信号も安心して渡ることができたり。トイレや階段、目的地に着くまでにサポートがあれば助かる場面は様々あると感じた。「何かお手伝いすることありますか?」必要としていないときもあるけれど、その声かけが何より嬉しいと彼女は言っていた。さてその彼女は仕事で視覚に障がいがある人向けにパソコンやiPhone講習の担当もしている。

けれど: 視覚に障がいが出てきた人にパソコンやiPhone、補助具の使い方がさまざまな情報を提供し支援する所があることを知らない人が多く、彼女も病名を告知されてから長い間 支援先の存在を知らなかったが、大阪市内にある支援施設に出会えてリハビリテーションセンターで訓練を受けた。いような支援を知って福祉機器を使いこなせるようになる生活がこんなに豊かになるよ!

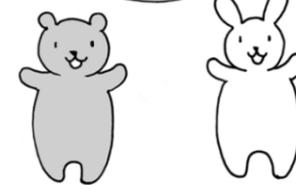
彼女はそんな思いを込めてさまざまな情報をFacebookやラジオでも発信している。タンDEM自転車(ペダルとサドルが複数ついた二人乗りの自転車)で各地を巡り素敵な写真もアップして視覚に障がいがある人だけでなく誰にでも役立つ興味深い情報がいっぱい!

生まれながらに見えない人や人生半ばで事故や病気で視覚障がいになる人、全盲や視野が欠けているなど見え方も人によって違う。機器の使い方だけでなく、同じ障害のある仲間と情報の共有ができる場など、その人に必要な施設や団体があることをこのコラムで支援先が必要な人に伝わり、視覚障がい者への声かけて一人でも多くの方が安心して外出できるようになることを願っています。

お読みいただき有難うございました。

## コープ自然派が取り組む 4つのR

回収チラシも  
西に布されるよ  
みこね



- ・リフューズ
- ・リデュース
- ・リユース
- ・リサイクル



詳しい情報はHPをご覧ください▲

[みんなのVOICE] 編集部宛メール  
voice07@shizenha.co.jp



今回の「みんなのVOICE」はいかがでしたか?  
よろしければ、ご意見感想お寄せください。